

平成 24 年度事業評価 総括

平成 24 年度に(公財)浜松市文化振興財団文化事業課にて開催した事業 9 本(13 公演)について、内部評価を実施。なお、内部評価の実施に当たり、財団法人地域創造の「公立ホール政策評価アドバイザー派遣事業」により派遣されたアドバイザー 4 名による助言・提言を受けた全国 14 施設の内部評価事例を参考に評価指針を作成。(アドバイザー派遣事業は平成 19 年～21 年、調査研究会・追跡調査は平成 22 年に実施)

1. 実施した内部評価項目

(1) 目標設定

事業開催目的及び狙い、損益分岐点の設定、予算設定、収益目標額、自主財源投入予定額

(2) 事業成果と評価

目的及び狙いの達成度、入場者・参加者・実績値、収支状況

(3) 結果確認、改善点および今後の方向性

達成度・実績値・収支状況による総合評価、担当者・所属長による状況分析及び改善点

2. 内部評価結果による平成 24 年度開催事業の総括

(1) 総合評価

9 本中、「良好だが一部問題あり」との結果が 1 本のみであり、その他は「優秀な水準」が 6 本、「卓越した水準」が 2 本となった。

「一部問題あり」となった事業はミュージカルであり、作品の内容自体は非常に良いが券売率が伸び悩み、ニーズをとらえていなかったと考えられる。昨今のミュージカルで成功をおさめているのは演じる団体または作品の知名度が高い事業に限られており、今後の財団事業におけるミュージカル開催はかなり慎重に進めていかなければならない点が本事業で判明した。現に平成 24 年度に共催事業にて開催した別作品のミュージカルは、首都圏などでも話題性があり出演者も著名な公演だったため、浜松を含む複数の地域で完売となった。ただし、このようなミュージカルは事業規模が大きいため財団単独開催ではリスクが高く、今後も共催事業としてリスク分散をして進めていく必要がある。

そのほか舞台芸術やコンサートなどの公演では券売率・収支状況など合わせた結果、全体的に「水準の高い事業開催」と評価できるため、今後の事業選定の指標となる。また更なる券売率・入場率を高めるため、「状況・改善点」項目に見られる広報の充実、ターゲットを明確にした販売戦略を研究・実施していく。

なお、平成 24 年度事業の内部評価については、平成 26 年度開催事業選定時前に評価内容についての総括会議を課内で行い、意見交換・課題整理を行った。

(2) 内部評価の効果

事業企画において「選定」から「実施」、「結果」、「今後の考察」までのいわゆる“PDCA サイクル”に基づいた事業運営を行うことで、様々な要素を見直すことができ、今後の事業選定に有益な資料を蓄積することが可能となった。同じ内容の事業を開催することは短期的なサイクルでは少ないが、市民の潜在的需要や販促ターゲットなどの参考とする要素は存在している。引き続き本内部評価を継続することにより、当財団の事業開催における貴重なノウハウを蓄積していく。

3. 各内部評価結果一覧（評価点基準及び総合判定基準根拠は巻末資料を参照）

■事業概要					
事業名	ミュージカル「おもひでぼろぼろ」				
開催日・場所	平成24年4月30日 アクトシティ浜松 大ホール				
基本方針分類	育てる（市民の文化的満足度の向上、ミュージカル鑑賞の普及振興）				
内容・目標	<p>浜松市内でのミュージカル公演開催は少ないことから、鑑賞の機会を財団が提供すること自体が重要である。本公演はスタジオジブリの同映画タイトル作品であり、ミュージカルを初めて鑑賞する方には馴染みやすい内容。</p> <p>わらび座は50年以上のミュージカル公演実績がある団体。本公演により舞台装置の美しさと、生で人が演じ、歌う魅力を感じていただきたい。</p> <p>アクトシティ友の会会員様向けに終演後バックステージツアーを実施し、満足度の向上とアクトシティ施設への関心を高めていただく。</p>				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	85.0%	アンケート回収枚数 256枚 回収率31.7%			85点
II 参加者等	券売率	55.9%	テレビ CM 等の告知を多く行ったものの集客には結びつかなかった。 団体へ販売営業、演劇関係者への斡旋、わらび座と協同での営業を行ったが、販売数は伸び悩んだ。		50点
	入場率	52.5%			
	達成率	69.9%			
III 収支状況	収入率	66.7%	チケット収入の減少が起因。		70点
	支出率	93.2%	チケット収入が少ないことにより、経費を見直した。		
	財源投入率	162.1%	チケット収入減のため当初予定より投入額増加		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 B
質的成果	I 目標達成度	85点	30	25.5点	
量的成果	II 参加者等	50点	40	20点	
	III 収支状況	70点	30	21点	
			合計	66.5点	
状況・改善点	<p>内容の素晴らしさ・魅力をどのように伝え販促につなげるかが課題。また、ミュージカル鑑賞人口を増やす工夫も必要。鑑賞人口の増加は年月がかかると予想されるため、開催時に次につなげていく仕組みを検討する必要がある。バックステージツアーなどは、その手法の一つとして評価できる。出演者とのマッチングや事前ワークショップなど多方面で事業展開をしていかなければ、現状ではメジャータイトル以外のミュージカルで集客するのは難しい。ミュージカル分野の展開について、今後は演目・団体・出演者・集客の工夫・鑑賞人口の増加等慎重に検討していく必要がある。</p>				

■事業概要					
事業名	浜名梱包クラシックスペシャル アクトニューアーティストシリーズ 2012. 4-2013. 3				
開催日・場所	平成24年5月20日、7月8日、9月16日、12月16日、平成25年2月17日 全5回 アクトシティ浜松 音楽工房ホール				
基本方針分類	交わる（演奏会・アフタートークを通して若手アーティストとの文化交流を深める）				
内容・目標	<p>浜松では、有名なアーティストの演奏会はあっても、今後の活躍が期待される若手アーティストの演奏会はまだまだあまり頻繁には開催されていない。実力があり、魅力的な若手アーティストに演奏の機会を提供することで、演奏を聴いた市民が今後の活躍に注目し、音楽への関心を高めていくことを目的としている。</p> <p>クラシック初心者でも来場しやすい価格設定や、割り引いたお得な価格のパスポート（5回通し券）を設定することでリピーターを増やし、クラシックファンの拡大を狙う。</p>				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	87.1%	アンケート回収枚数 370枚 回収率 39.6%			87点
II 参加者等	券売率	84.9%	券売目標はほぼ達成できたが、年間パスポート購入者の方が来場されないケースがあった。		90点
	入場率	79.4%			
	達成率	99.9%			
III 収支状況	収入率	83.2%	割引価格のパスポートが見込み以上に売れたため。		80点
	支出率	84.2%	公演料、その他諸経費の削減に努めた。		
	財源投入率	52.8%	支出削減により、当初予定より減額となった。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	87点	30	26.1点	
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点	
	III 収支状況	80点	30	24点	
			合計	86.1点	
状況・改善点	<p>低額料金で今後の活躍が期待できる若手アーティストの演奏を聴ける機会として定着してきた。シリーズを毎回・毎年聴きに来る方も増え始め、期待度の高さがうかがえる。本編演奏後に行う「アフタートーク」は、演奏中には見られない奏者の素顔がわかる財団独自の企画であり、来場者から非常に好評である。今後も継続し、聴衆と演奏者の距離を近づけていく事が、このシリーズの魅力にもつながっていくと思われる。</p> <p>なお、今後の課題として固定ファン以外の、新規顧客・若年層へのアプローチを研究し実践していく事が必要である。</p>				

■事業概要					
事業名	親子のためのコンサート「音楽の絵本」吹奏楽バージョン				
開催日・場所	平成24年5月27日 アクトシティ浜松 大ホール				
基本方針分類	育てる（こどもたちが音楽をより身近に感じ、今後の関心につながるきっかけとする）				
内容・目標	<p>こどもにとっての文学の世界を音楽に置き換え、音楽を耳だけでなく目でも楽しんでもらう。それにより音楽に対する興味を持ち、今後様々な音楽に触れるきっかけとなることを目的とする。</p> <p>演奏する楽曲や演出を工夫し、こどものみならず同伴の親世代も楽しむことができる内容とすることで、親子が公演終了後も感想や感動を共有できる公演とする。</p> <p>好評であった平成21年度の公演を再演。</p>				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	89.3%	アンケート回収枚数 311 枚 回収率 24.3%			89 点
II 参加者等	券売率	91.0%	アクトシティでの開催は平成21年度に続き2度目だが、リピーターが多く券売が伸びた。		100 点
	入場率	86.9%			
	達成率	107.0%			
III 収支状況	収入率	105.3%	目標券売数を上回ったため。		90 点
	支出率	83.0%	チケット販売手数料など経費削減のため。		
	財源投入率	40.5%	収入増により投入額増加。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 AA
質的成果	I 目標達成度	89 点	30	26.7 点	
量的成果	II 参加者等	100 点	40	40 点	
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	93.7 点	
状況・改善点	<p>演奏だけでなく、様々なアトラクションを随所にちりばめた演出で、小さな子どもも飽きずに鑑賞でき、来場者の満足度も非常に高い結果となった。公演終了後もロビーにて握手・写真撮影を行うことで、来場者がコンサートや奏者を身近に感じることができる工夫を行った。当日配布プログラムには演奏曲目の紹介の他、演奏を聴くマナーについても項目を設けることで、初めてホールでコンサートを聴く子どもたちに鑑賞の仕方を学ぶ機会も提供できた。入場率・収支面なども良い結果であり、今後もシリーズ化して開催を検討していきたい。</p>				

■事業概要					
事業名	ロシア・ナショナル管弦楽団 アレクサンダー・コプリン（ピアノ）				
開催日・場所	平成24年6月24日 アクトシティ浜松 大ホール				
基本方針分類	育てる（市民の文化的満足度を向上させ、心豊かに生きる活力としてもらう） 交わる（世界で活躍する一流の芸術家に触れる機会の提供）				
内容・目標	ロシア・ナショナル管弦楽団と第5回浜松国際ピアノコンクールの最高位受賞者であるアレクサンダー・コプリンとの協演事業を開催し世界で活躍する芸術家の鑑賞機会の提供及び市民の文化的満足度向上を目的とする。 ロシア・ナショナル管弦楽団は世界屈指のオーケストラであり、創設者で本公演の指揮者であるミハイル・プレトニョフは、指揮者として一流であるほか、チャイコフスキー国際コンクールで金賞を獲ったピアニストでもある。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	90.0%	アンケート回収枚数 229枚 回収率 20.6%			90点
II 参加者等	券売率	71.3%	新聞広告、テレビCM、市内フリーペーパー、愛知県へのタブロイド広告などを実施したが、券売が伸び悩んだ。		70点
	入場率	70.6%			
	達成率	83.9%			
III 収支状況	収入率	72.3%	A席・B席が完売する一方、SS席・S席の販売数が伸び悩んだ。 浜松オリジナル公演のため、見込みより委託・調整費が増加。 収入減により投入額増加。		60点
	支出率	102.9%			
	財源投入率	153.0%			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	90点	30	27点	
量的成果	II 参加者等	70点	40	28点	
	III 収支状況	60点	30	18点	
			合計	73点	
状況・改善点	<p>本公演の曲目・奏者は浜松オリジナルプログラムであり他都市との差別化が図られた。今後も積極的に検討していくべきである。ピアニストは第8回浜松国際ピアノコンクールのPRのためコンクール入賞者を選定した。</p> <p>オーケストラの集客が年々低くなっているため、販売促進のためには一般的なチケット販売ではなく今回のような特典付きやオリジナルプログラムなど検討していく必要がある。その際には、特典内容の告知を積極的に行う必要がある。</p> <p>他都市で開催される同様の公演よりチケット料金を下げるため自主財源を多く使用したが、それでもチケットが高いとのアンケート結果が出てしまった。開催頻度・チケット単価・内容など検討を重ねて、有効的な自主財源の活用を図りたい。</p>				

■事業概要					
事業名	松竹大歌舞伎 昼の部・夜の部				
開催日・場所	平成24年7月16日 アクトシティ浜松 大ホール				
基本方針分類	育てる（歌舞伎鑑賞の機会を提供し、市民の文化的満足度を向上させる） 交わる（日本が世界に誇る伝統芸能の一つである歌舞伎を次世代につなげる）				
内容・目標	毎年恒例となっている松竹大歌舞伎は、楽しみにされている市民の方が多い。大都市まで出掛けなければ観ることのできない歌舞伎の鑑賞機会を浜松市内で提供する。リピーターのお客様が多いが、新規顧客を獲得できるよう広報を行い、今後のリピーターへと変化させていきたい。また、若年層への鑑賞機会の提供を行うため、静岡県高等学校文化連盟の高校生へ働きかけをする。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	73.0%	アンケート回収枚数 752枚 回収率 35.7%			73点
II 参加者等	券売率	70.2%	昼の部は完売に近い状態だったが、夜の部は前回開催時より大幅に減少。夜の部は終演時間が遅くなるため、高齢者の方々が敬遠される傾向がある。		80点
	入場率	69.4%			
	達成率	93.7%			
III 収支状況	収入率	83.6%	夜の部のチケットが伸び悩んだ。		90点
	支出率	83.3%	開催経費の削減を実施。		
	財源投入率	0%	当初より自主財源投入予定なし・実績もなし。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	73点	30	21.9点	
量的成果	II 参加者等	80点	40	32点	
	III 収支状況	90点	30	27点	
			合計	80.9点	
状況・改善点	市民会館時代を含めアクトシティオープン以来長らく続いている年に一度の歌舞伎公演のため、恒例行事としてリピーターのお客様が多い公演の一つである。演目・演者により集客が影響されることが多い事業ではあるが、伝統芸術の振興を考え、今後も継続が望ましいと考える。収支面では夜の部の来場者が顕著に減少しているため、来場しやすい時間・曜日などを考慮して開催する必要がある。				

■事業概要								
事業名	しまじろうコンサート 2012 おとぎのくにの だいぼうけん 午前の部・午後の部							
開催日・場所	平成 24 年 9 月 1 日 アクトシティ浜松 大ホール							
基本方針分類	育てる（こどもの頃から舞台に親しみ、今後の関心につながるきっかけを創造） 交わる（就学前の子どもと保護者が舞台公演を楽しむことができる機会を提供）							
内容・目標	子どもと保護者が揃って来場し、同じステージを鑑賞することで、記憶や感想を共有できる機会を提供する。また、年少のうちから舞台公演に親しむ機会を提供することにより、こどもの文化・芸術に対する関心を育てる。							
■事業成果と評価					評価点			
I 目標達成度（満足度）	83.5%	アンケート回収枚数 315 枚 回収率 11.2%			84 点			
II 参加者等	券売率	76.3%	事業決定後、この公演の 2 か月後に同様の公演が他の主催者により開催されることが決定した。そのため、来場者が分散してしまい販売目標に到達しなかった。		80 点			
	入場率	72.4%						
	達成率	95.4%						
III 収支状況	収入率	98.5%	類似事業による来場者分散の影響で収入減。		90 点			
	支出率	89.1%	財団オンラインショップ購入者が多かったためチケット委託手数料減。					
	財源投入率	0%	当初より自主財源投入予定なし。					
■評価総合結果								
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定			
質的成果	I 目標達成度	84 点	30	25.2 点				
量的成果	II 参加者等	80 点	40	32 点	A			
	III 収支状況	90 点	30	27 点				
			合計	84.2 点				
状況・改善点	類似公演が直近で開催されたため、チケット販売が伸び悩んだ。事業決定の際には決まっていなかったことだが、今後は直近の公演についても招聘元と調整し販売方法を検討していく事が重要である。対象となる購入層は若い世代が多かったため、チケットの販売は web 経由が多かった。財団独自システム（HCF オンラインショップ）による販売のため、チケット販売手数料が大幅に押さえられた。今後も HCF オンラインショップを活用した経費削減を実施していく。							

■事業概要					
事業名	第8回浜松国際ピアノコンクール開催記念「月の輝く夜は」				
開催日・場所	平成24年9月14日 浜松市教育文化会館 はまホール				
基本方針分類	育てる（市民の力でピアノコンクール及び音楽の都・浜松を盛り上げる）				
内容・目標	<p>企画運営を、市民スタッフ（浜松市アクトシティ音楽院主催「主催者養成セミナー」修了生）が行い、市民参画でピアノコンクール事業をはじめとする、音楽の都を盛り上げることを目指す。</p> <p>企画運営を担当する市民スタッフは過去の修了生から希望を募り、このコンサートのために集める。</p> <p>市民スタッフに企画運営をしてもらうが、サポート役として主催者養成セミナーのアドバイザーも参加し、質の高い公演を企画する。市民スタッフの育成も兼ね、また市民スタッフの活動を周知するために、一般来場者のほか市民スタッフに興味のある方たちにもご来場いただく。</p>				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	86.6%	アンケート回収枚数 359枚 回収率 29.6%			87点
II 参加者等	券売率	47.9%	主催者養成セミナー修了生や関係者、またセミナー参加希望者、学生などを招待するため、当初から限定枚数で販売数を少なく設定したため客席数に対する券売率は低い数字だが、目標としていた販売枚数は大幅に上回ることができた。		90点
	入場率	83.2%			
	達成率	171.5%			
III 収支状況	収入率	122.7%	団体販売などが好調で予定を上回った。		40点
	支出率	143.2%	ほぼ予定通りの実施。		
	財源投入率	174.1%	企画内容の充実化により経費が増加し投入率が増加した。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	87点	30	26.1点	
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点	
	III 収支状況	40点	30	12点	
			合計	74.1点	
状況・改善点	<p>市民スタッフが主体的に企画検討会議を重ね、コンサートの企画から広報PR、当日の運営を担当した。市民スタッフにとってとてもよい経験になったと同時に、主催者養成セミナーの事業内容を多くの方に紹介することができた。また市民スタッフの口コミによる広報PRのおかげで、普段コンサートに馴染みのない層にご来場いただき、クラシックコンサートを聴ききっかけづくりとすることができた。会場内、当日配布プログラム、MCなどにより浜松国際ピアノコンクールの告知も行った。</p> <p>ただし、企画の内容決定までが難航し、当初の予算を超える企画内容になってしまったこと、決定が遅かったため、コンサート内容を明確に伝えたいという告知が難しかったことなどは改善していきたい。</p>				

■事業概要					
事業名	プラハ国立歌劇場オペラ「フィガロの結婚」				
開催日・場所	平成25年1月6日 アクトシティ浜松 大ホール				
基本方針分類	育てる（市民の文化的満足度を向上させ、心豊かに生きる活力としてもらう） 交わる（世界第一級の名門劇場によるオペラの鑑賞機会の提供）				
内容・目標	プラハ国立劇場は、かつてモーツァルト自身が「フィガロの結婚」を指揮（1787年1月）したこともある伝統と格式を持った随一の名門劇場。この劇場のために「ドン・ジョバンニ」を作曲するなど、モーツァルトに大変ゆかりのある劇場であり、モーツァルトのオペラを鑑賞するのにふさわしい劇場である。今回はそのプラハ国立劇場による6年ぶりの来日引越し公演を浜松で実施することにより、市民に文化的な満足感を提供する。また、浜松において海外の名門オペラ劇場の公演をほぼ毎年開催しているのは当財団のみであり、オペラ・クラシックファンから開催の要望が多く届いている。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	78.9%	アンケート回収枚数 298枚 回収率 24.2%			79点
II 参加者等	券売率	85.5%	近年オペラ事業はチケット販売が非常に苦戦するが、団体予約など販路を広めた結果、目標には到達しなかったが近年の中では高水準の結果となった。		80点
	入場率	85.2%			
	達成率	95.0%			
III 収支状況	収入率	84.7%	団体販売などの割引が単価を下げ収入減の要因となった。		70点
	支出率	98.9%	ほぼ予定通りの実施。		
	財源投入率	134.7%	収入減のため予定より自主財源投入額が増加。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	79点	30	23.7点	
量的成果	II 参加者等	80点	40	32点	
	III 収支状況	70点	30	21点	
			合計	76.7点	
状況・改善点	オペラは年々集客が厳しくなっている中、目標に達成はしなかったものの、顕著な減少傾向は食い止めることができた。ディナー券とのセット券販売や、他事業との連携によるオペラ講座の開催、学生への販売促進などの効果が出たと考える。今回は1月初頭のオペラということで、着物でのご来場もあり、新年にふさわしい雰囲気となっていた。新年を祝うイベントとして来場者の満足度も高かったと考える。ただし、自主財源を投入してチケット単価を下げている点を踏まえて、今後のオペラ開催の頻度・演目・招聘団体等を検討していく必要がある。				

■事業概要					
事業名	箏 ハートフルコンサート				
開催日・場所	平成25年1月16日 アクトシティ浜松 音楽工房ホール				
基本方針分類	育てる（文化的満足度の向上）				
	交わる（福祉団体の協力により、多くの方へ鑑賞機会を提供）				
内容・目標	<p>「ハートフルコンサート」は市内福祉団体と協力し平成19年度より毎年開催し、今回で6回目となる。普段ホールへ足を運ばない方や障がい者の方への鑑賞機会提供を目的とし、どなたでも親しみやすいコンサートを目指して、毎回出演者のトークを交えたり、お客様が出演者と一緒に歌うコーナーを設けたり等の工夫をしている。今回出演の大橋雅美穂さんは、視覚障がいを持つ、浜松市在住の箏（二十弦箏）演奏家である。箏の名曲を中心に初めて聴く方にも親しみやすい曲や、特別企画としてヘレン・ケラーが来日した際に、宮城道雄が作曲し演奏した歓迎曲を再現し演奏する。</p> <p>箏の演奏会というと、かしこまった雰囲気というイメージがあるが、プログラムを工夫することで、楽しんで気軽に聴ける内容にし、箏の演奏をいっそう身近に感じてもらう。演奏だけでなく、曲の間にトークも入れていただく予定。演奏と合わせて視覚障がい者である大橋雅美穂さんにご自身のことについて語っていただくことで、障がいを持った方にも、そうでない方にも、毎日を心豊かに生きるためのヒントをみつけていただけることを期待する。</p>				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度（満足度）	90.0%	アンケート回収枚数 112 枚 回収率 63.3%		90 点	
II 参加者等	券売率	104.5%	当初の席数を上回り追加席を設定・販売。	90 点	
	入場率	80.5%	当日の来場数が券売数よりかなり少なかった。		
	達成率	128.0%	追加席販売により当初より大幅に増加。		
III 収支状況	収入率	116.0%	完売のためチケット収入増。	90 点	
	支出率	51.8%	チケット販売手数料及びその他の経費減少。		
	財源投入率	36.9%	チケット収入増・及び支出減のため当初予定より投入額減少。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定
質的成果	I 目標達成度	90 点	30	27 点	
量的成果	II 参加者等	90 点	40	36 点	AA
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	90 点	
状況・改善点	<p>ハートフルコンサートは平成19年度より福祉団体の協力を得て開催し、今回で6回目。この事業はチケット価格を安価に設定している分、財源はほぼ自主財源から捻出していることもあり、開催意義や協力関係については整理しておく必要がある。特に福祉団体との協力については、1回目より同じ方法で続けてきているため、ここで再確認し、次の開催を検討したい。</p>				

※評価点基準及び総合判定基準根拠について

I 目標達成度

満足度	アンケート結果による顧客満足度（よい・大変良いの集計）の割合。
-----	---------------------------------

II 参加者等

券売率	当初設定された有効販売数に対する販売実績率。100%で完売。
入場率	有効座席数に対する入場者実績率。100%で満席。
達成率	券売目標率に対する券売率の達成率。100%で目標達成。

III 収支状況

収入率	当初予定収入額に対する収入実績率。100%以上で収入増。
支出率	当初予定支出額に対する支出実績率。100%以下で経費削減。
財源投入率	当初予定されていた自主財源投入額に対する投入額実績。 100%以下で投入額減少。0%で投入額0円、事業単体で収支は黒字。

総合判定 評価総合結果の点数により、下記の通り設定

90点～100点	AA 卓越した水準
70点～89点	A 優秀な水準
40点～69点	B 良好な水準だが一部問題あり
20点～39点	C 一応の水準だがかなり問題あり
0点～19点	D 多くの問題あり

平成25年9月26日

公益財団法人浜松市文化振興財団 文化事業課

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1

TEL053-451-1114 FAX053-451-1123

http://www.hcf.or.jp e-mail:event@hcf.or.jp